

番号	4		事業名	道路改築事業		市町村名	下伊那郡阿智村		路河川名	(主)天竜公園阿智線		箇所名(ふりがな)	伍和(ごか)					
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	本路線は、泰草村、下條村、阿智村を結び、下伊那の骨格幹線道路となる国道151号、国道153号、(主)飯田富山佐久間線を東西につなぐ重要な路線である。当該区間は山間部に位置し、幅員が狭く、カーブが連続しているため、車両のすれ違いや落石、また冬期の通行等に支障をきたしていた。 そのため、橋梁及びトンネル区間を含むバイパス整備を行い、円滑で安全な交通の確保を図り、利便性向上による地域経済の活性化を目指すべく平成18年度に事業着手した。																	
	②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい) 評価 ・トンネル及び橋梁の採用により、地形の改変を少なくし、自然への負荷を軽減した。 ・工事期間中の騒音・振動等に配慮することにより、生活環境や自然環境への影響は少なかった。																	
事業目的	道路幅員狭小箇所及び落石危険箇所、カーブが連続する線形が悪い区間を迂回するバイパス整備により、円滑で安全な交通を確保することを目的としている。																	
事業概要	当初工期	H18~H22	費用対効果(当初時)	1.8	事業費(千円)	財源内訳(千円)				③施設の維持管理状況								
	最終工期	H18~H27	費用対効果(評価時)	1.5	上段:当初/下段:最終()は国補事業分以内	国庫	その他	県債	一般財源	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切) 評価 ・道路パトロールを毎週1回行っており、良好な状態の確保に努めている。 ・道路が拡幅されたことにより、冬期間の除雪作業性が向上したため、きめ細やかな除雪が可能となった。 ・本路線沿線では、地域住民による清掃や花壇整備等、年間5回の道路美化活動が行われている。 ・供用後、落石等の法面崩落がなく安全に通れるようになった								
	当初計画内容(主な工種)	道路築造工L=1,040m W=6.0(8.0)m 橋梁工L=109m トンネル工L=318m			2,300,000	1,380,000			920,000	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) 評価 ○地域からの意見 ・当区間は、山間部であるために危険な法面が多く存在し、道路も幅員が狭小で線形も不良なため十分な視距が確保できず常に事故と災害の可能性のある道路であった。全線道路改良が完了したことにより、事故、災害等のリスクが軽減され走行の安全性、快適性が確保された。(阿智村伍和自治長)								
	最終事業実績(主な工種)	道路築造工L=1,040m W=6.0(8.0)m 橋梁工L=109m トンネル工L=318m			2,779,380	1,667,628			1,111,752	・道路整備により下條村、阿南町方面への通勤時間が短縮された。(阿智村伍和地区50代男性) ・急カーブが何箇所もあり降雪時の通行にかなり不安があったが、不安が解消された。(阿智村伍和地区50代女性) ・国道153号へのアクセスが便利になり、使用する頻度も増えた。(下條村親田地区60代男性) ・地元小学校及び中学校の児童、生徒を対象に現場学習会を開催したところ、道路の必要性や道路を作る苦労が分かったとの声があった。								
事業期間の延長、短縮理由と分析	事業用地の取得にあたり、一部用地交渉が難航し期間を要したため、事業期間が延長となった。																	
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	栗矢トンネル区間について、花崗岩が風化した脆弱な地質が多く、また、阿智側坑口部は土被りが薄い湿地帯であるが、調査によって想定した地質よりも悪いことが掘削時に判明したため、その対策として地山補強工を用いて工事を行ったことにより事業費が増となった。																	
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)												評価					
	直接的効果(定量的・定性的)	○交通の利便性向上 ・通勤時間の短縮(下條村役場から阿智村役場間で約5分の短縮) ○安全性向上 ・狭隘で急峻な区間をバイパス化したことにより線形が改良された。 ・道路防災点検における5箇所の落石危険箇所を回避し、防災面での信頼性が向上した。												A				
間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	○地域間の交流、商業圏拡大による経済効果 ・阿智村のスーパーでは、下條村方面からの来客が増加し、売り上げが上がった。 ・通勤圏内が拡大し阿智村への就業者が増加。 ○周辺観光地等への影響 ・屋神温泉から観光地へのアクセスが向上し、広域観光ルートが創出された。												(各部局) 公共事業評価委員会の意見		・道路整備により、利便性の向上と安全性が確保されていることから、事業の目的を達成しており、地域住民の評価が高いなど総合評価Aが妥当と判断する。		総合評価	A
													長野県公共事業評価委員会の意見		・建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。		評価監視委員会意見	妥当
																	評価の決定	A